

賢治さん まじり

第121回

「花巻ユネスコティータイム」

年に5回、御田屋町にある花巻ユネスコ会館で開催されている読書会「花巻ユネスコティータイム」。課題図書と宮沢賢治の作品を1冊ずつ選定し、おやつの時間を間に挟みながら感想や考えを語り合います。本年度創設60周年を迎える花巻ユネスコ協会の会員を中心に、一般参加も募り、平成20年から開催されているイベントです。

扱う作品は参加者からの希望や推薦された中から選定され、これまで当イベントの中で読んできた本は累計111冊にのぼります。

「普段自分では選ばないような作品も多く、幅広い作品に触れることができる」と話すのは、花巻ユネスコ協会が当イベントを担当する大島さん。「さま



▲「花巻ユネスコティータイム」の様子



▶会場である花巻ユネスコ会館

ざまなジャンルの作品を取り上げているが、特に賢治童話の絵本は、同じ話でも作家や挿絵によって雰囲気が変わると感じている。それぞれが自分の持っている本を持ち寄って、いろいろな視点で作品について考えることも楽しみの一つ」とイベントの魅力を語ります。

次回の「花巻ユネスコティータイム」は、2月20日(金)午後2時から、花巻ユネスコ会館で開催予定です。事前予約制のため、参加を希望される方は左記事務局までご連絡ください。

「花巻ユネスコティータイム」に関する問い合わせ）花巻ユネスコ協会(☎265418)

市民生活コーナー

不用品回収サービスのトラブルに注意!

■どんなトラブルがあるの?

○引越し作業を「1.5トントラック定額パック4万円」という広告を見て申し込んだ。作業後に請求金額を確認すると45万円だった。荷物は運びだしてもらわないうと困るのでサインしたが、納得がいかない

○空き家整理のために「一軒家丸ごと2トントラック詰め

注意することは?

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

放題5万円」という広告を見て見積もりを依頼。「見積もりは出せない、広告のとおり」と言われた。作業当日、「荷台の囲いの高さまでしか詰めない」と言われ、

納得できずキャンセルを申し込むと、キャンセル料を請求された。トラックには「一般廃棄物処理業許可」の表示はなかった

○不用品の収集・運搬業は市町村による「一般廃棄物処理」の許可が必要です。利用する前に確認しましょう

■困ったときは?

○広告に安価な料金が表示されていても、実際には荷物

の量や状態によって追加料金が発生することがあります。事前に複数の業者から見積もりを取り、作業内容や追加料金、キャンセル料金の有無などを確認しましょう

健康コラム

視力と外遊びの関係

お子さんは普段どれくらいの時間、外で遊んでいますか?

近年、近視になる子どもの割合が増えています。その要因の一つに、外遊びの減少が挙げられます。日光に当たり、外で遊ぶことが、近視の予防につながります。

■外遊びの目安

外遊びの目安は、1日2時間といわれており、連続で2時間ではなく、30分ずつ、1時間ずつなど時間を分けての外遊びでも効果があります。また、暗そうに見える建物の影や木陰でも、屋外であれば十分です。

■年齢が低いほど効果的です

スマートフォンを使ったりゲームをしたりと、屋内で過ごすことが増え、外遊びの時間が減少している子どもも多いと思いますが、外遊びによる近視予防は、年齢が低いほど効果的です。また、外遊びの効果は近視予防だけではなく、運動能力が向上したり、知的機能の発達が促されたりと、さまざまです。

寒い日が続いていますが、天気の良い日は子どもと外遊びをしてみませんか?

【問い合わせ】こども家庭センター(☎41-3609)

広げよう 活動の輪

市民活動団体紹介

宮沢賢治の思いをつないで30年 石鳥谷賢治の会

賢治の歌碑「葛丸」の建立を機に平成6年に設立された「石鳥谷賢治の会」。約40人の会員で活動中です。

賢治の詩の朗読や合唱、講演などを行う「賢治やまなし祭」「賢治葛丸祭」といったイベントを通じて賢治の顕彰を行っています。

また、若い世代に賢治作品の理解を深めてもらう活動も熱心に行っており、ヤマナシの木を石鳥谷町内の小学校に寄贈、剪定を行っているのもその活動の一つです。同会の菅原さんは、「児童が賢治の作品である『やまなし』を読んだとき、本物のヤマナシが身近になれば、より興味を持ってもらえる」と意図を語ります。



▼同会が建立した「三月」詩碑

▲宮野目小学校で行われた幻燈紙芝居の様子

校などで披露し、好評を得ています。同会は、会員以外も参加できる「賢治三月祭」を3月8日(日)午後1時30分から開催予定。賢治が石鳥谷町内で行った肥料相談の様子を描いた詩「三月」の詩碑がある道の駅「石鳥谷」で、詩の朗読や精神歌の合唱が行われます。

【問い合わせ】
石鳥谷賢治の会
事務局 熊谷
(☎090-8258-6170)

*同会では会員を募集中です。興味のある人は右記までご連絡ください

地域おこし協力隊

いよいよ活動の成果を表す年です
-ブドウ栽培技術の継承と地域活性化担当

高木健一

神奈川県横浜市から移住し、地域おこし協力隊としての任期3年間の半分が過ぎました。1年目は、地域の人たちと交流を深めるとともに、ブドウの栽培技術を学び、さまざまなことに種をまいた年でした。

2年目は、市外の人たちとも交流を深め、今後の事業展開などについて意見交換をしました。地域の人たちとはさらに親交を深め、手伝いをしたり、してもらったり、農作物をいただいたりと、

少しずつではありますがまいた種から芽が出てきた印象です。また、ブドウ栽培については、自分のほ場を手に入れ、先輩に教わりながらではありますが、年間作業をこなすことができました。

協力隊としての活動も間もなく最終年に入ります。ブドウ栽培に励むとともに、私の目標である民泊経営や観光ブドウ園の実現に向けて、残り多い1年にしていきたいと思いますので、皆さん引き続き応援をよろしくお願いいたします。



▲自分のほ場で年間作業をこなしました



▲移住者交流会で市内外の人と親交を深めました